

桜井市社会教育施設個別施設計画
(芝運動公園総合体育館)

令和6年3月

桜井市教育委員会



目次

第1章	個別施設計画の背景・目的・位置づけ	1
1	背景	1
2	目的	2
3	計画期間	2
第2章	対象施設	3
1	対象施設の位置づけ	3
2	配置状況	5
第3章	施設の老朽化状況および今後必要となる対応	6
1	老朽化状況の把握	6
2	今後必要な対応	9
3	ライフサイクルコストの比較	11
第4章	今後の施設整備の方針	12
資料	長期修繕・改修計画	13

第1章 個別施設計画の背景・目的・位置づけ

1 背景

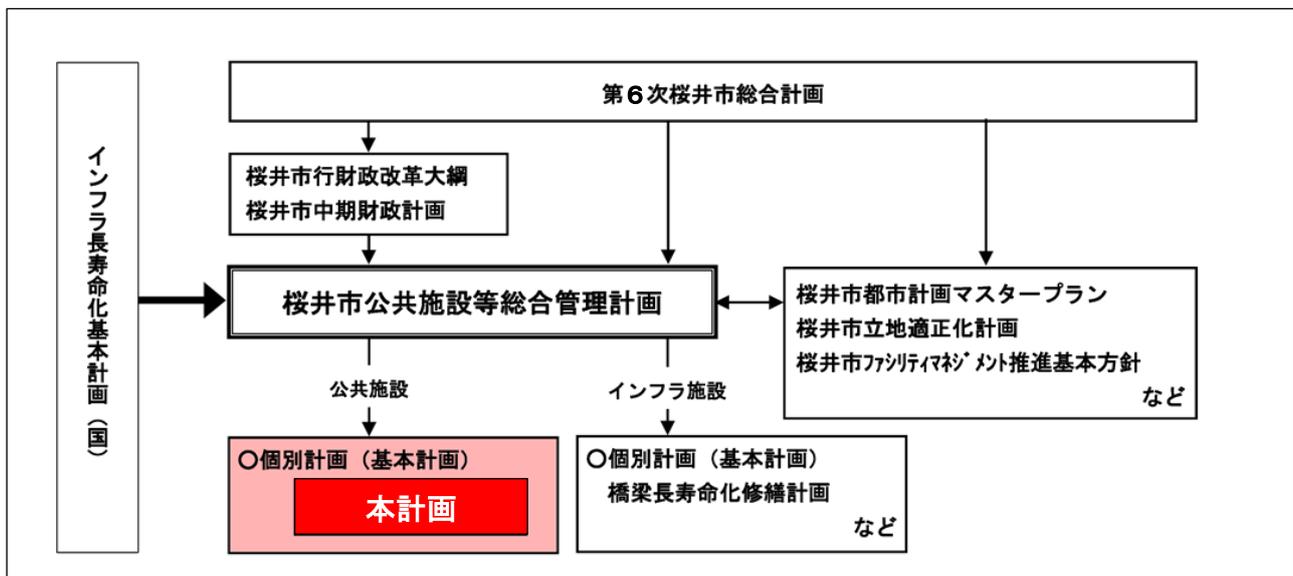
桜井市では、平成26（2014）年4月の総務省通知「公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について」に基づき、平成28（2016）年3月に、桜井市公共施設等総合管理計画を策定しました。

この公共施設等総合管理計画では、多くの公共施設が老朽化し更新が必要な時期を迎えている中、少子高齢化等による人口減少や財政見通しを踏まえ、将来を見据えた「公共施設の数値目標」を、「長寿命化対策を図り、施設保有量（延床面積）を40年間で32.2%縮減」と決めました。

平成28（2016）年度には公共施設等総合管理計画を踏まえ、限られた財源や財産をより有効に活用しながら、公共施設の最適な配置を実現していくため今後10年間の取組について「桜井市公共施設再配置方針」及び、公共施設等総合管理計画の実施計画として位置づけされた「桜井市公共施設再配置方針アクションプラン」を策定しました。

これらの基本的な方針を基に、芝運動公園総合体育館における直近の改修計画の作成、検討方法の考え方や対策内容、実施時期などを定めた桜井市社会教育施設個別施設計画を策定します。

【図表 1-1 本計画の位置づけ】



出典：桜井市公共施設等総合管理計画 p2、一部改変

2 目的

令和4（2022）年3月に改訂した『桜井市公共施設等総合管理計画』では、スポーツレクリエーション系施設の基本方針として、「老朽化が進んでいる施設における適正な施設規模」、「周辺の公共施設との集約化や複合化を図るなど今後のあり方の検討」などを行うこととしています。

芝運動公園総合体育館は、建物の老朽化が進行していますが、依然として利用需要が高いことから、今後の施設活用に関して、長寿命化等、各種改善策を選定した上で、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの把握が必要な状況です。

本計画は、こうした状況を踏まえ、対策の優先順位の考え方や対策内容、実施時期などを定め、安全性の確保や適切な環境の充実を図ることを目的に策定するものです。

3 計画期間

本計画の計画期間は、令和6（2024）年度から令和37（2055）年度までの32年間とし、今後の取組の進捗状況や社会情勢の変化、関連計画の策定・改定等により、必要に応じて見直し、追加を行うこととします。

第2章 対象施設

1 対象施設の位置づけ

(1) 対象施設

本計画の対象施設は、芝運動公園総合体育館（以下「総合体育館」という。）1棟です。

【図表 2-1 対象施設】

施設名称	概要		竣工年月
芝運動公園総合体育館	所在地	桜井市大字三輪元馬場方 686 番地	昭和 58 年 5 月
	構造	鉄筋コンクリート造 2 階建て 屋根(カラーステンレス横葺き)	
	建築面積	4,568 m ²	
	床面積	5,735 m ²	
		1 階 3,761 m ²	
		2 階 1,974 m ²	
	競技場の広さ	2,180 m ² (51.9m×39.9m)	
	観客席	2 階固定席 514 席	
	(1階) 競技場 バレーボール 3 面(公式) バスケットボール 2 面(公式) テニス 2 面(公式) バドミントン 12 面(公式) トレーニング室 会議室 医務室 事務室 指導員室 放送室 更衣室 シャワー室 機械室 倉庫 器具庫 湯沸室		
	(2階) 柔道場(公式 1 面) 剣道場(公式 1 面) 更衣室 卓球練習場		

(2) 上位計画での位置づけ

令和4（2022）年3月改訂の『桜井市公共施設等総合管理計画』では、総合体育館を含むスポーツ施設について以下のような基本方針を定めています。

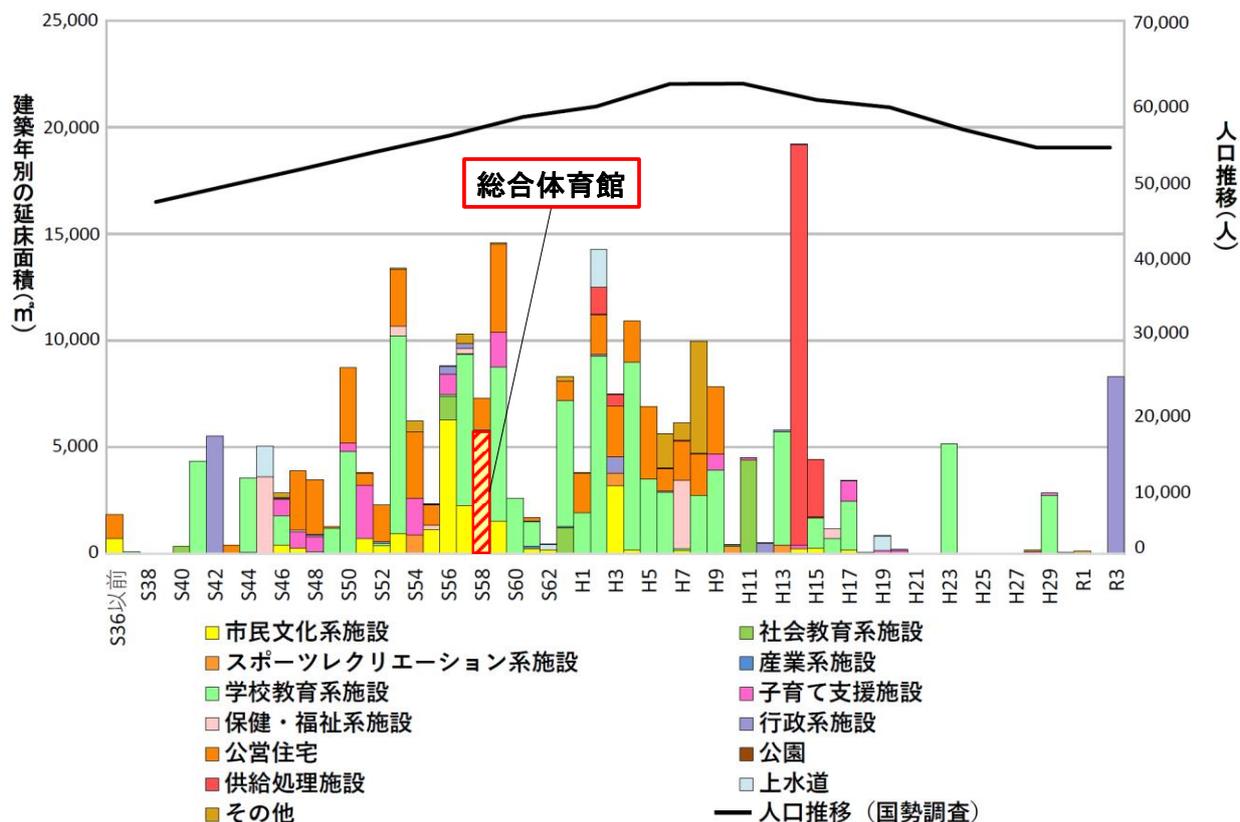
- ・ 老朽化が進んでいる施設については、適正な施設規模の検討を行い、周辺の公共施設との集約化や複合化を図るなど今後のあり方の検討を行います。
- ・ 施設の効率的な管理運営方法を検討するとともに、引き続き使用する施設については耐震化及び長寿命化を図り、計画的な予防保全を行っていきます。

(3) 施設の整備状況

本市公共施設の総延床面積は、令和4(2022)年3月時点で253,492㎡です。そのうち、総合体育館が含まれるスポーツ施設は7,690㎡で全公共施設の3%を占めています。

総合体育館は芝運動公園内にあり、昭和58(1983)年に整備された鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積5,735㎡の建物です。市内の公共施設としては比較的古い建物で、令和5(2023)年現在、築40年に達しています。

【図表 2-2 築年別整備状況】



出典：桜井市公共施設等総合管理計画 p6、一部改変

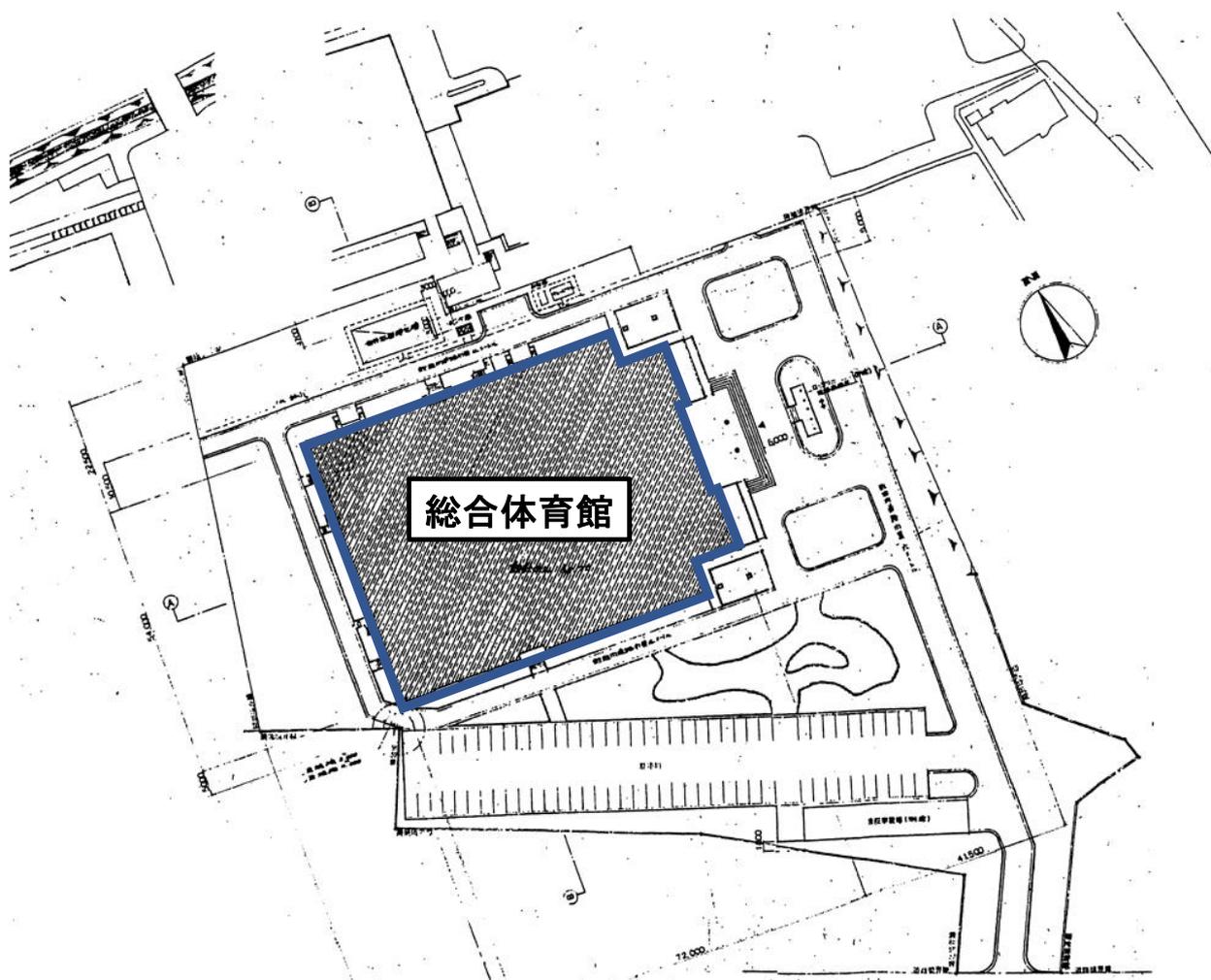
2 配置状況

総合体育館は、令和3（2021）年11月策定の『桜井市都市計画マスタープラン』における北部地域、JR万葉まほろば線三輪駅周辺の市街地外縁部に整備されています。

同地域は三輪山山麓の大神神社を中心に歴史性のある集落や観光・商業機能が立地してきた地域であり、市の観光および交流の拠点となっている地域です。総合体育館周辺の古くからの市街地では、人口減少や少子高齢化の進行など、活力の停滞もみられ、道路基盤の整備を含む移動環境の充実や良好なまちづくりへの誘導が求められています。

なお、本施設がある芝運動公園は三輪駅から徒歩10分と近いほか、国道169号線に面しており、交通アクセスは良好です。

【図表 2-3 施設配置図】



第3章 施設の老朽化状況および今後必要となる対応

1 老朽化状況の把握

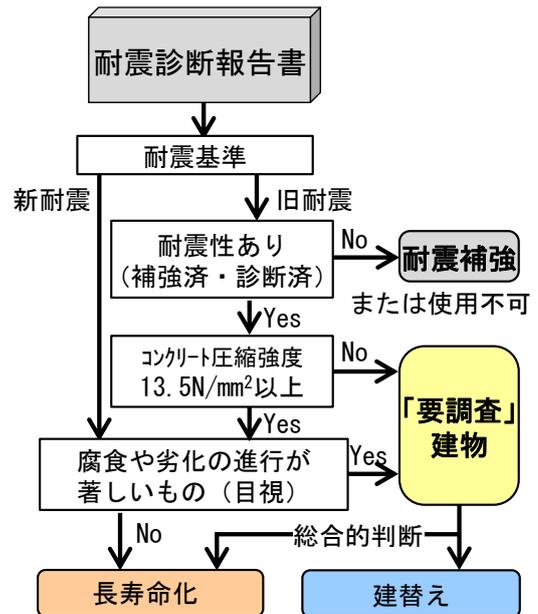
個別施設の老朽化状況を把握し、課題を明確化し、長寿命化するために必要となる修繕・改修サイクルを設定することで、今後必要な修繕・改修コストを算定します。その際、個別施設に関する様々な既存資料の収集・整理、及び現地目視調査を実施しました。

(1) 躯体の健全性

長寿命化にあたっては躯体が健全である必要があるため、躯体健全性の判定フローに従って判定します。なお、躯体の健全性に問題のある建物（要調査建物）は、詳細調査に基づき、建替えか長寿命化かを総合的に判断します。

本施設は、新耐震基準に基づく建物であることから、長寿命化は可能であり、改修を施しながら70年以上の長期にわたって使用できる建物です。

【図表 3-1 躯体健全性の判定フロー】



(2) 躯体以外の劣化状況

屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、給排水衛生設備等の各部位・設備について、各種点検での指摘事項と前回改修からの経過年数を把握しました。

現地目視調査と施設担当者へのヒアリングを行い、4段階で総合評価を行いました。

調査・評価の結果は、劣化状況カルテに整理しました。

施設の健全性を「健全度」として点数化した指標としています。

今後は、継続的な劣化調査によりこれらの情報を更新することで計画を見直すことができます。

【図表 3-2 劣化状況評価基準】

		評価基準
良好 ▲ 劣化	A	概ね良好
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
	C	広範囲に劣化（安全上、機能上、低下の兆し）
	D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の健全性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

【図表 3-3 劣化状況カルテ】

2023 年度

施設名	芝運動公園総合体育館		施設コード	—	調査日	2023年6月27日	
建物名	—		建物コード	—	記入者	(株)ファインコーポレート研究所	
棟番号	—	建築年度	1983 年度 (昭和58 年度)		建築年数	築後 40 年	
構造種別	鉄筋コンクリート造	延床面積	5,735 m ²		階数	地上 2 階 地下 0 階	

部位	仕様 (該当する項目を「■」とする。複数選択可。 ()内及び空欄行には具体的な仕様名を記入)	改修履歴		評価	劣化状況 (複数回答可)	範囲	特記事項	総合評価	
		年度	経年						
1 屋根屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水				■ 降雨時に雨漏りがある ■ 天井等に雨漏り痕がある ■ 保護層のひび割れ、目地の曇れ・欠損がある ■ 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・腐朽・欠損がある <input type="checkbox"/> 笠木・手摺等に錆、変形、浮き、亀裂等がある <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある	広範囲	アスファルトシート防水に漏水あり ステンレス製大屋根は色褪せ(2009年ジョイント部補修)、内樋から漏水	D	
	<input checked="" type="checkbox"/> アスファルト露出防水	1983	40	C		数か所			
	<input type="checkbox"/> シート防水					広範囲			
	<input type="checkbox"/> 塗膜防水					広範囲			
	<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺、折板)	2009	14	B					
	<input type="checkbox"/> 屋根(アスファルトシングル、スレート、瓦類)								
	<input type="checkbox"/> その他屋根 ()								
2 外壁	<input checked="" type="checkbox"/> 複層塗リ	<input type="checkbox"/> モルタル下地	1983	40	C	<input type="checkbox"/> 剥落、浮き、爆裂、大きな亀裂がある ■ ひび割れ、錆汁がある <input type="checkbox"/> 塗装の退色、膨れ、剥がれがある <input type="checkbox"/> タイルや石に剥がれ、浮き、亀裂がある <input type="checkbox"/> 内部に外壁からの漏水がある <input type="checkbox"/> 目地、建具周りのシーリングが劣化している <input type="checkbox"/> 手すり等に錆、変形、浮き、亀裂等がある ■ 既存点検等で指摘がある	数か所	吹付部にクラック、レンガタイルに浮きが見られる	C
	<input type="checkbox"/> 薄塗リ(リシン等)	<input type="checkbox"/> モルタル下地							
	<input type="checkbox"/> 打放し								
	<input checked="" type="checkbox"/> タイル、石張り		1983	40	C		広範囲		
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル								
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)								
	<input type="checkbox"/> その他外壁 ()								
3 外部開口部	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ+単板ガラス		1983	40	C	<input type="checkbox"/> 窓・ドアの開閉、施錠等に不具合がある ■ 窓・ドアに錆・腐食・変形・塗装の剥がれがある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りに漏水がある <input type="checkbox"/> 格子等の鉄部に錆・腐朽・ぐらつきがある <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある	広範囲	アルミサッシは汚れが目立つ スチールドアは塗装剥がれ	C
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ+複層ガラス								
	<input checked="" type="checkbox"/> 鋼製サッシ		1983	40	C				
	<input type="checkbox"/> 防音サッシ								
	<input type="checkbox"/> その他開口部 ()								
4 内部仕上 (床・壁・天井・建具等)	<input type="checkbox"/> 全面的改修 ()					<input type="checkbox"/> 床仕上材に使用上の支障がある ■ 壁仕上材にひび割れ等の不具合がある ■ 天井に落下の危険がある <input type="checkbox"/> 内部建具に開閉、施錠等に不具合がある ■ 保守点検等や行政庁から指摘がある	数か所	アリーナ、柔道場、剣道場の天井材に落下の危険あり ロッカー室壁面にクラック 便器一部洋式	C
	<input checked="" type="checkbox"/> トイレ改修 (便器の一部洋式化)	2020	3	B	数か所				
	<input type="checkbox"/> 非構造部材改修 ()				数か所				
	<input type="checkbox"/> 防火設備改修 ()				数か所				
	<input type="checkbox"/> その他改修 ()				数か所				
5 電気設備	<input checked="" type="checkbox"/> 受変電設備 (キュービクル)		1983	40	C	<input type="checkbox"/> 機器の全面的な錆・腐食・破損等 <input type="checkbox"/> 機器が頻繁に故障する <input type="checkbox"/> ブレーカーが時々落ちる ■ 保守点検等や行政庁から指摘がある <input type="checkbox"/>		アリーナ以外はLED交換済 外部幹線に高木がかかっている 放送設備老朽化	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 電力・電灯設備 (蛍光灯等)	1983	40	C					
	<input checked="" type="checkbox"/> 通信設備 (館内放送)	1983	40	C					
	<input checked="" type="checkbox"/> 防災設備 (火災報知)	1983	40	C					
	<input type="checkbox"/> その他 ()								
6 給排水衛生設備	<input checked="" type="checkbox"/> 給水設備 (直結)		1983	40	C	<input type="checkbox"/> 水質・水量等で使用に支障がある <input type="checkbox"/> 機器が頻繁に故障(異音・漏水) <input type="checkbox"/> 排水のつまりや臭い、蛇口からの錆水 <input type="checkbox"/> ガス漏れ検査で異常指摘がある <input type="checkbox"/> 保守点検等や行政庁から指摘がある		給湯は湯沸室のみ シャワーは冷水	C
	<input checked="" type="checkbox"/> 給湯設備 (ガス瞬間湯沸し)	1983	40	C					
	<input checked="" type="checkbox"/> 排水設備 (配管)	1983	40	C					
	<input checked="" type="checkbox"/> 衛生設備 (和洋混合)	1983	40	C					
	<input checked="" type="checkbox"/> ガス設備 (LPG)	1983	40	C					
	<input checked="" type="checkbox"/> 消火設備 (屋内消火栓)	1983	40	C					
7 冷暖房換気設備	<input type="checkbox"/> 中央方式	<input type="checkbox"/> 熱源設備 ()				<input type="checkbox"/> 通常の使用に支障がある <input type="checkbox"/> 機器に異音・異臭・漏水がある <input type="checkbox"/> ドレンのつまり等がある <input type="checkbox"/> 保守点検等や行政庁から指摘がある		会議室、事務所等にはエアコン設置 床下換気に発錆	B
		<input type="checkbox"/> 空調機器 ()							
		<input type="checkbox"/> ダクト・配管設備							
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別方式	<input checked="" type="checkbox"/> パッケージ空調設備(EHP)	2007	16	B				
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(エアコン)	2007	16	B					
8 昇降機	<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/> 通常の使用に支障がある <input type="checkbox"/> 保守点検等や行政庁から指摘がある			-
	<input type="checkbox"/>								
9 外構及び工作物	<input checked="" type="checkbox"/> 床タイル ()		1983	40	C	<input type="checkbox"/>		玄関前のタイル剥がれ、浮き	C
	<input type="checkbox"/> ()								
	<input type="checkbox"/> ()								
	<input type="checkbox"/> ()								
10 その他	<input type="checkbox"/> ()								
	<input type="checkbox"/> ()								
	<input type="checkbox"/> ()								
	<input type="checkbox"/> ()								

※各部位の総合評価は、改修履歴の評価、写真台帳の評価とは異なる場合があります。

健全度
40 / 100点

【図表 3-4 劣化状況写真】



玄関庇の金属板の錆



玄関階段のタイルの剥がれ・浮き



アスファルトシート防水に漏水あり



大屋根の色褪せ、内樋から漏水あり



アリーナ天井の剥がれ、一部落下



柔道場倉庫 雨漏りによる天井の腐食



内壁のひび割れ



トイレの老朽化

2 今後必要な対応

(1) 今後必要な機能回復

躯体以外の劣化状況を把握した結果は、以下のとおりです。

- 建物の健全度は100点満点で現状40点です。建物全体として各部が老朽化しており、実際に雨漏り等の不具合が生じているため、できるだけ早期に大規模な改修が必要です。
- 屋上防水で経年劣化が進んでおり、一部で漏水がみられるため早急な対応が必要です。外壁では、吹付部のクラック、タイルの浮きがみられます。
- アリーナ、剣道場、柔道場で、天井パネルに落下の危険性があります。特にアリーナでは一部が剥がれており、落下している箇所もあります。
- 照明設備は一部でLED化してありますが、放送等のその他の電気設備や給排水衛生設備は、新築時に整備した設備機器がそのまま利用されている場合が多く、老朽化が進んでいます。
- アリーナは冷暖房が整備されていません。換気ダクトやファンに錆が出ています。
- 老朽化に伴う不具合が全館で顕在化していることから、改修が広範囲に及ぶほか、車椅子観覧席はあるものの、そこまでの経路でバリアフリー対応ができていない、観客席の椅子の間が狭いなど、使い勝手の面でも問題があります。複数案でコスト比較を行ったうえで、施設の今後の方向性を検討する必要があります。

【図表 3-5 健全度の算出】

健全度とは、各建物の部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定します。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に設定しています。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っています。

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	8.3
3 外部開口部	8.9
4 内部(教室・廊下)	22.4
5 電気設備	8.0
6 給排水衛生設備	3.65
7 空調設備	3.65
計	60

(健全度の計算)

	評価	→	評価点	×	配分	=	
1 屋根・屋上	D	→	10	×	5.1	=	51
2 外壁	C	→	40	×	8.3	=	332
3 外部開口部	C	→	40	×	8.9	=	356
4 内部	C	→	40	×	22.4	=	896
5 電気設備	C	→	40	×	8.0	=	320
6 給排水衛生	C	→	40	×	3.65	=	146
7 空調設備	B	→	75	×	3.65	=	273.75

計 2,374.75

÷ 60

健全度 40

※オールA:100点満点

※オールB:75点

※オールC:40点(改修が必要)

※オールD:10点(早急な改修が必要)

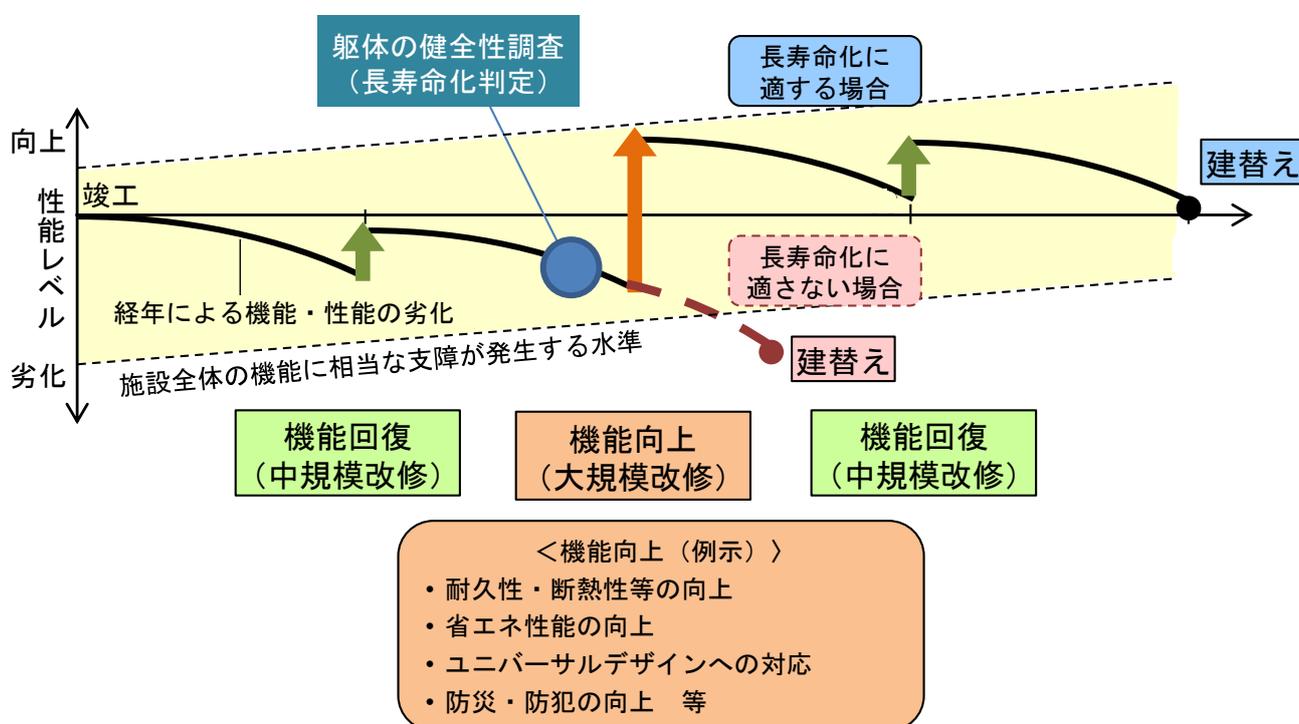
(2) 長寿命化に向けてのサイクルの考え方

総合体育館は、利用需要が高く、今後も長く使っていきべき建物です。しかし、長期にわたって建物を使うためには、劣化する部位・設備に対して、状況に応じて修繕・改修を行う必要があります。

長寿命化に向けては、各部位や設備の劣化状況調査に基づき、他の部位と合せて実施した方が効率の良い工事等にも配慮し、概ね20年周期で修繕・改修を効率的に実施し、経年劣化に対する機能回復を図ります。さらに40年目頃に用途変更や環境性能の向上などの改善を図り、内部仕上げや設備の配管・配線を全面的に更新する大規模改修を行うことが望ましいです。

総合体育館は、現在、築40年であり、大規模改修の実施の判断時期を迎えています。

【図表 3-6 建築物の望ましい目標使用年数】



効率的な修繕・改修を行うため、原則として、各部位の劣化状況評価の結果に基づいて修繕・改修の実施時期を判断することとします。「D評価」は2年以内、「C評価」は10年以内、「B評価」は20年以内、「A評価」は40年以内を目安に修繕・改修を計画します。なお、「B評価」であっても、利用者の利便性や運営上の機能向上を図るなどの観点から、他の部位の修繕・改修とあわせて行った方がよいと判断する場合があります。

3 ライフサイクルコストの比較

今後 10 年以内に行うべき対応について、2 案を想定しコスト比較を行いました。

【図表 3-7 コスト比較結果】

工事内容	A案 15.8億円	工事内容	B案 13.7億円 (空調無し、床下地既存のまま)
大屋根葺き替え		大屋根葺き替え	
外壁タイル貼り替え 外壁塗り替え 建具シーリング、 スチール戸塗り替え		外壁タイル貼り替え 外壁塗り替え 建具シーリング、 スチール戸塗り替え	
各部屋内装 アリーナ床・天井・壁		各部屋内装 アリーナ天井・壁	
アリーナ照明 照明LED 受変電 放送・カメラ		アリーナ照明 照明LED 受変電 放送・カメラ	
トイレ 給水・給湯		トイレ 給水・給湯	
アリーナ空調		既存空調設備更新	

- ・アスベスト調査費及びアスベスト除去費は別途
- ・設計・工事監理委託費は別途
- ・工事費は将来の物価変動を考慮していません。

過去大規模な改修を行っておらず、各部の劣化が見られることから、内外装・設備の全般にわたる改修を計画します。A案はアリーナの空調導入と床下地のやり替えを含めたものです。

令和12年の国民スポーツプレ大会に合わせて、今後の具体的な対応を検討することにします。

なお、屋上防水は、雨漏りが深刻であり、現状を放置すると内装や躯体へのさらなる影響が懸念されるため、喫緊に修繕について予算措置等の検討を進める必要があります。

第4章 今後の施設整備の方針

以上を踏まえ、今後の施設整備の方針は以下のとおりとします。

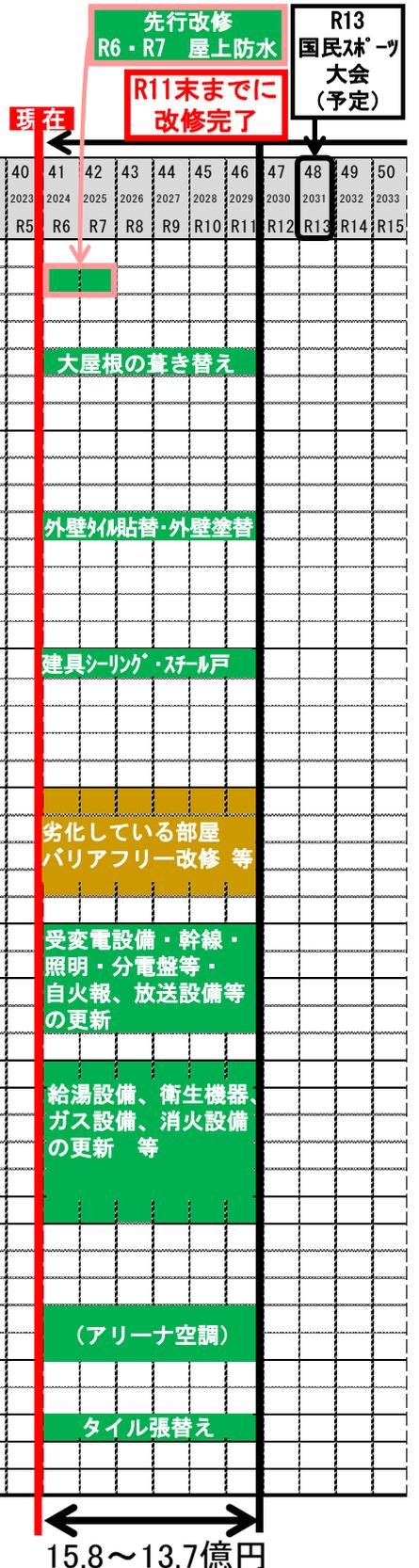
【図表 4-1 今後の施設整備の方針】

- 1 竣工から70年以上使用することを目標に、耐震安全性を確保し、計画的な予防保全を行なうことで長寿命化を図る。
- 2 当面の施設需要に対して、安全で機能的に、利活用できるように修繕・改修を図る。
- 3 将来的な施設の機能や規模の見直し、及び施設の複合化・集約化に対応できる柔軟な計画とする。
複数のシミュレーションを行い今後の方向性を検討する。
- 4 他の公共施設の個別施設計画と横断的に検討するための情報の一元化を図る。
- 5 今後の施設の方向性・必要性に応じて、随時計画を見直す。

資料 長期修繕・改修計画

芝運動公園総合体育館
1983年度竣工
5,735 m²

部位	劣化評価	仕様	周期	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	
				2019 H31	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	2030 R12	2031 R13	2032 R14	2033 R15	
1 屋根 屋上	D	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水	20																
		<input checked="" type="checkbox"/> アスファルト露出防水	20																
		<input type="checkbox"/> シート防水	20																
		<input type="checkbox"/> 塗膜防水	20																
		<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺、折板)	20																
		<input type="checkbox"/> 屋根(アスファルトシングル、スレート、瓦類)	20																
2 外壁	C	<input type="checkbox"/> その他屋根 ()	20																
		<input checked="" type="checkbox"/> 複層塗り <input type="checkbox"/> モルタル下地	20																
		<input type="checkbox"/> 薄塗り(リシン等) <input type="checkbox"/> モルタル下地	20																
		<input type="checkbox"/> 打放し	20																
		<input checked="" type="checkbox"/> タイル、石張り	20																
		<input type="checkbox"/> 金属系パネル	20																
3 外部 開口部	C	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)	20																
		<input type="checkbox"/> その他外壁 ()	20																
		<input type="checkbox"/> バルコニー等 ()	20																
		<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ+単板ガラス	40																
		<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ+複層ガラス	40																
4 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等)	C	<input checked="" type="checkbox"/> 鋼製サッシ	40																
		<input type="checkbox"/> 防音サッシ	40																
		<input type="checkbox"/> その他開口部 ()	40																
		<input type="checkbox"/> 全面的改修 ()	40																
		<input checked="" type="checkbox"/> トイレ改修 (洋式化)	40																
5 電気設備	C	<input type="checkbox"/> 非構造部材改修 ()	40																
		<input type="checkbox"/> 防火設備改修 ()	40																
		<input type="checkbox"/> その他改修 ()	40																
		<input checked="" type="checkbox"/> 受変電設備 (キュービクル)	30																
		<input checked="" type="checkbox"/> 電力・電灯設備 (蛍光灯等)	30																
6 給排水 衛生設備	C	<input checked="" type="checkbox"/> 通信設備 (館内放送)	20																
		<input checked="" type="checkbox"/> 防災設備 (火災報知)	20																
		<input type="checkbox"/> その他 ()	20																
		<input checked="" type="checkbox"/> 給水設備 (直結)	15																
		<input checked="" type="checkbox"/> 給湯設備 (ガス瞬間湯沸し)	30																
7 冷暖房 換気設備	B	<input checked="" type="checkbox"/> 排水設備 (配管)	30																
		<input checked="" type="checkbox"/> 衛生設備 (和洋混合)	30																
		<input checked="" type="checkbox"/> ガス設備 (LPG)	30																
		<input checked="" type="checkbox"/> 消火設備 (屋内消火栓)	40																
		<input type="checkbox"/> 中央方式 <input type="checkbox"/> 熱源設備 ()	20																
8 昇降機	-	<input type="checkbox"/> 個別方式 <input type="checkbox"/> 空調機器 ()	20																
		<input type="checkbox"/> ダクト・配管設備	20																
		<input checked="" type="checkbox"/> パッケージ空調設備(EHP)	20																
		<input checked="" type="checkbox"/> その他(エアコン)	20																
9 外構及び 工作物	C	<input type="checkbox"/> 床タイル	40																
		<input type="checkbox"/>																	
		<input type="checkbox"/>																	



長期修繕・改修計画は、施設に今後かかる修繕・改修費用を前もって把握し、準備するために必要な計画です。

総合体育館は、令和 13（2031）年の国民スポーツ大会で会場として使用される可能性があり、前年である令和 12（2030）年にはプレ大会が行われることから、令和 11（2029）年までに一通りの改修を終わらせることを目標とします。

表中の着色部分は、工事に係る計画・設計・施工の概ねの実施時期を、5年から10年の期間で示しています。着色期間すべてにわたって工事を行うことを示すものではありません。

- 部位の更新・改修
- 劣化部位の修繕・改修
- 解体・撤去

